

2021年12月2日

## 修学旅行でSDGsを学び、カーボンオフセットを実現 「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行プログラム」発売開始

株式会社JTBは、カーボンオフセットの仕組みを取り入れた旅行商品「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行®」に加え、SDGsの本質理解をアクションにつなぐ学習教材「SDGsワークショップ ～Decade of Action～」をセットにした新商品「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行プログラム」を修学旅行や校外学習などの探究学習を実施する教育機関向けに2021年12月2日(木)から販売開始いたします。

初年度である2022年度は100,000名の生徒様にご利用いただくことを目指します。

### 修学旅行を通じてSDGsへの具体的な取り組みを！ CO<sub>2</sub>ゼロ旅行プログラム

旅  
マエ

#### SDGsワークショップ ～Decade of Action～

「認知」から具体的な「行動」へ



- SDGsを学ぶことにより、  
探究学習の導入→課題の設定へとつなげることができる
- 学校行事の事前学習として実施することにより、  
現地での体験活動の学習効果（当事者意識）を高めることができる
- 社会課題や身の周りで起こっている出来事に対して、  
より“自分ごと”にするためのきっかけになる

旅  
ナカ

#### CO<sub>2</sub>ゼロ旅行

##### カーボンオフセットで実際にCO<sub>2</sub>を削減する

修学旅行中にどうしても排出されてしまう分のCO<sub>2</sub>について、  
修学旅行代金に+αする形で、グリーン電力によりゼロにする

修学旅行中に排出するCO<sub>2</sub>をグリーン電力でゼロに



関連するSDGs項目



グリーン電力証書

第三者機関の認証に基づいた、自然エネルギーの環境価値購入の証明書



「CO<sub>2</sub> ゼロ旅行プログラム」は、教室での SDGsの「学び」を「行動」に移すためのツールです。旅マエの事前学習で自分ごととして SDGsを学び、CO<sub>2</sub> を削減するための行動をした上で、修学旅行の移動などで発生するCO<sub>2</sub>をグリーン電力の仕組みを利用してオフセットします(CO<sub>2</sub> 排出量を相殺します)。グリーン電力購入の証明としてグリーン電力証書が学校に 1 枚発行され、国内の再生可能エネルギー自給率アップや地球温暖化の抑制への貢献につながります。

## ■背景・経緯

近年、日本を含む世界中で気候変動による自然災害が多発しており、脱炭素社会へ向けた具体的な取り組みが急務となっております。なかでも観光分野における CO<sub>2</sub> 排出量は世界全体の 1 割を占めると言われており、2021 年 11 月、COP26 にて観光における気候変動対策「グラスゴー宣言」が正式に立ち上げられ、観光分野において 2030 年までに排出ガスを半減、2050 年までに実質ゼロ達成を目指すことが宣言されました。旅行を「サステナブルに」行うことが地球温暖化抑制のための重要な手段であり、JTB としても特に取り組むべきであると考えます。

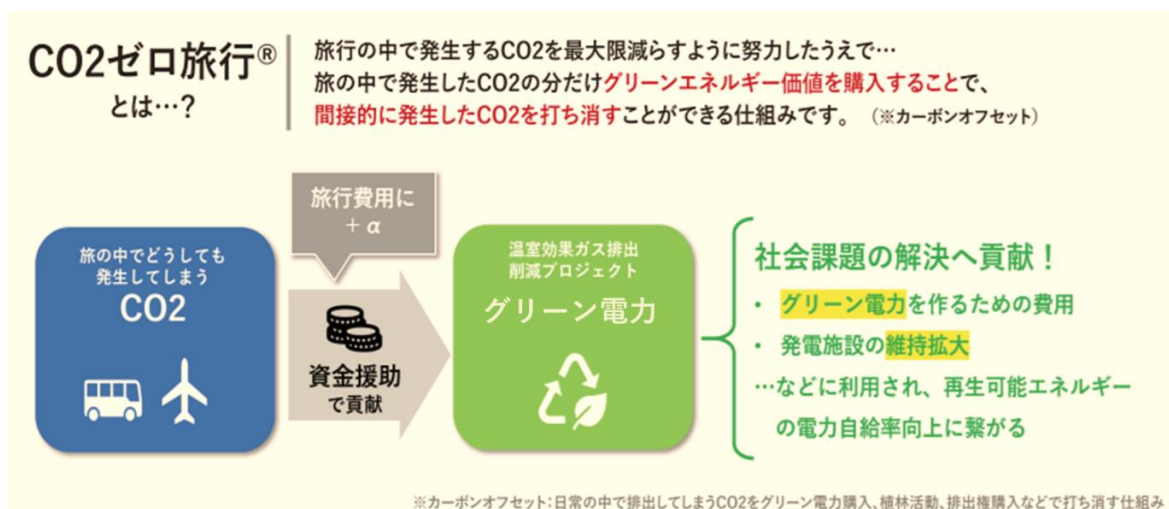
## ■JTB の取り組み

JTB は、2007 年よりエコツアーブランド「GreenShoes(グリーンシューズ)」や「LOVEARTH(ラバース)」などの旅行商品を中心に「CO<sub>2</sub> ゼロ旅行」を販売してまいりました。「CO<sub>2</sub> ゼロ旅行」には延べ 17,765 名が参加し、総発電量 914,200kWh の自然エネルギーを調達することで、旅行の際の移動などで排出された CO<sub>2</sub> を相殺しました。このカーボンオフセットの仕組みを利用して削減した CO<sub>2</sub> 量は 447 トンに相当します。

## ■JTB の CO<sub>2</sub> ゼロ旅行とは

JTB の CO<sub>2</sub> ゼロ旅行とは、カーボンオフセット(※)の仕組みを利用した旅行です。CO<sub>2</sub> を排出しないで発電するグリーン電力(自然エネルギーによる発電/風力・ソーラー・バイオマス発電など)の価値を購入して旅行をすることで、間接的に旅行中に排出する CO<sub>2</sub> を打ち消すことができます。グリーン電力を購入することで発電施設の維持・拡大にも繋がり、将来の再生可能エネルギー自給率アップにも貢献します。

※カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること(グリーン電力購入、植林活動、排出権購入など)等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。



## ■新商品「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行プログラム」の特徴

\*「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行(カーボンオフセット旅行)」と学習教材「SDGs ワークショップ ～Decade of Action～」のセット商品です。

- ・予算に応じてプランを選べます。(下図以外にもご相談に応じて設定可能です。)
- ・グリーン電力証書を発行、学校の HP 等にも掲載いただけます。

### えらべる3プラン



### グリーン電力証書

第三者機関の認証に基づいた、  
自然エネルギーの環境価値購入の証明書。



\*学習教材「SDGs ワークショップ ～Decade of Action～」について

国連は 2020 年 1 月、SDGs 達成に向けて「行動の 10 年(Decade of Action)」をスタートさせました。Decade of Action では、貧困やジェンダーから気候変動、不平等、資金不足の解消にいたるまで、世界の最重要課題すべてについて持続可能な解決策を加速度的に講じることを求めています。その一環として JTB は、SDGs 学習をこれまでの「認知フェーズ」から「行動フェーズ」へと進化させていくために本ワークショップを開発しました。

【Action1】にて JTB オリジナル動画を教材として SDGs の本質について理解を深め、ワークシートを活用して考えをまとめます。【Action2】にて環境省が作成した「2100 年未来の天気予報」を題材として地球温暖化の影響を学び、考え、さらに身近な事例から中高生でも「日々の行動の中でできること」を自分ごととして考えます。オリジナルワークシートを活用し、グループワークを交えながら日常生活の中で実践する、という行動を促すワークショップです。

- ・所要時間:100 分(2 コマ)
- ・参加人数:20 名～ ※参加者の上限はありません。
- ・実施場所:教室・体育館など ※動画を基に進行していきますので、映像や音声を流せる環境が必要です。
- ・準備物 :筆記用具、各会場に、プロジェクター、スクリーン、スピーカー or マイク
- ・配布物 :オリジナルワークシート

実施後は、削減した CO<sub>2</sub> 量の算出及び JTB 独自のアンケート調査により、SDGs に関する取り組み姿勢を測り、効果の可視化をいたします。

＼2つのワークショップで構成！／

# SDGsワークショップ

**認知** フェーズから **行動** フェーズに移るための、SDGs学習教材

動画視聴 + 個人ワーク

## ① SDGsの本質を知る ワークショップ

- ・ JTBのファシリテーターによる進行の動画
- ・ SDGsの基本構造を理解し、なぜこの世界にSDGsが必要なのかを考える

⇒ オリジナルのワークシートを使って、学んだこと・考えたことをまとめる



グループワーク

## ② 2100年 未来の天気予報 ワークショップ

- ・ 環境省が作成した動画『2100年 未来の天気予報』を利用
- ・ 「カーボンニュートラル※」に関する、基礎的な知識を学ぶ（地球温暖化対策による影響、被害の可能性など）

⇒ “SDGs”の、さらその先を見つめ、「日々の行動の中でできること」を考える！



### ■JTB が目指すもの

「未来の子どもたちのために、少しでも美しい地球を残したい」 私たちはそう願っています。朝日新聞が実施した「第7回 SDGs 認知度調査(2020年12月、全国5千人対象)」では、「SDGs」について「内容を知っている」と回答した学生が60.0%に達したことがわかります。私たちは、「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行プログラム」を通じて、次世代を担う生徒様一人ひとりの気候変動に対する認知向上だけに留まらず、具体的な行動ができるカーボンオフセットで再生エネルギーの普及に貢献する機会を提供することにより、カーボンニュートラルな社会の実現をともに目指します。今後、本プログラムは、教育機関にとどまらず、企業や組織団体、自治体の皆様にもご活用いただけるようオーダーメイドで提供していく予定です。

\*「CO<sub>2</sub>ゼロ旅行®」は、当社の登録商標です。

### ■一般のお客様からのお問合せ先

JTB 企画開発プロデュースセンター TEL:03-5539-2798  
(9:30~17:30 ※12/30~1/3 及び土日祝休)

### ■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 TEL:03-5796-5833(東京) 06-6260-5108(大阪)